

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の
問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	実施許可日～2031 年 2 月の間に呉医療センターまたは共同研究機関にて大腸切除を伴う腹会陰式直腸切断術が予定されている、または施行された 20 歳以上の患者さん。			
② 研究課題名	腹会陰式直腸切断術における会陰創感染予防に対する SSI ケアバンドルに関する多施設共同前向き観察研究（HiSCO-15B 試験）			
③ 実施予定期間	2026 年 6 月 ～ 2032 年 2 月			
④ 実施機関	国立病院機構呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	大段 秀樹	所属	広島大学病院消化器・移植外科 教授
⑥ 当院の研究責任者	氏名	清水 洋祐	所属	呉医療センター 外科
⑦ 使用する試料・情報	収集する診療情報は下記の通りです。 診療録(カルテ)に記載されている以下の情報を使用します。1. 患者背景：性別、年齢、身長、体重、BMI、合併症(糖尿病など)、術前治療の有無など。2. 手術に関する情報：術式、手術時間、出血量、術中処置(SSI ケアバンドル項目、ドレーン使用の有無など)。3. 術後に関する情報：術後合併症の有無と程度(術後 30 日以内の会陰創感染の有無)、術後在院日数など。 試料：この研究で新たに採取する血液や組織などの試料はありません。 ※上記診療情報は、研究終了後 5 年間もしくは、研究結果の公表後 3 年間のいずれか長い期間まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 診療情報は当院の研究担当者が情報を取り扱い適切に保管します。			
⑧ 目的	腹会陰式直腸切断術後の合併症の一つである会陰創感染(SSI:手術部位感染)の発生を予防するために、科学的根拠に基づいた対策(SSI ケアバンドル)がどれほど効果的かを検討することです。この研究により、会陰創感染予防に特に重要なケア項目を明らかにすることを目的とします。			
⑨ 方法	本研究は非介入の多施設共同前向き観察研究です。患者さんに特別な検査や処置を行うことはなく、通常の診療の中で得られた診療録(カルテ)や手術記録、感染症記録に記載された既存の情報を収集・解析します。収集した情報をもとに、SSI ケアバンドルの実施状況と会陰創 SSI の発生率との関連を科学的に検証します。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日		2026 年 6 月 5 日	
	院長承認日		2026 年 6 月 5 日	
⑪公表	個人情報保護は保護したうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	佐田 春樹	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構呉医療センター 外科			

呉医療センター院長